

製品名: ヒストン H2B (アセチル Lys21) ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab06197

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	アセチル化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	15kDa

抗原情報

遺伝子名	Histone H2B
別名	H2BFS; Histone H2B type F-S; Histone H2B.s; H2B/s;H2BK21AC
遺伝子 ID	255626.0
SwissProt ID	Q96A08/P33778/P62807
免疫原	AA 範囲のヒトタンパク質からの合成アセチルペプチド: 21

背景

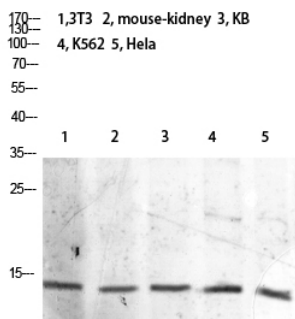
ヒストンは、真核生物の染色体繊維のヌクレオソーム構造を担う基本的な核タンパク質です。ヌクレオソームは、4つのコアヒストン (H2A、H2B、H3、H4) がそれぞれ対になってヒストン八量体に巻き付いた約 146 bp の DNA で構成されています。クロマチン織

維は、リンカーヒストン H1 とヌクレオソーム間の DNA との相互作用によってさらに凝縮され、高次のクロマチン構造を形成します。この遺伝子はイントロンを含まず、ヒストン H2B ファミリーの精巣/精子特異的な複製依存性ヒストンをコードしています。この遺伝子の転写産物には、回文終結エレメントが含まれています。[RefSeq 提供、2015 年 8 月]、機能: ヌクレオソームのコア構成要素。ヌクレオソームは DNA をクロマチンに巻き付けて凝縮し、DNA を鋳型として必要とする細胞機構への DNA のアクセスを制限します。ヒストンは、転写調節、DNA 修復、DNA 複製、染色体の安定性において中心的な役割を果たしています。DNA へのアクセス性は、ヒストンの複雑な翻訳後修飾（ヒストンコードとも呼ばれる）とヌクレオソームリモデリングによって調節されています。、PTM: RNF20/40 複合体による Lys-122 のモノユビキチン化は、エピジェネティックな転写活性化のための特異的なタグを与え、ヒストン H3 の「Lys-4」と「Lys-79」のメチル化の前提条件でもあります。また、FACT 二量体と協調して RNA ポリメラーゼ II による伸長を刺激します。、類似性: ヒストン H2B ファミリーに属します。、サブユニット: ヌクレオソームは、H2A、H2B、H3、H4 のそれぞれ 2 分子を含むヒストン八量体であり、1 つの H3-H4 ヘテロ四量体と 2 つの H2A-H2B ヘテロ二量体に組み立てられています。八量体はおよそ 147 bp の DNA を包みます。、組織特異性: 精巣でのみ転写され、対応するタンパク質は成熟した精子にも存在しません。、

研究分野

全身性エリテマトーデス;

画像データ



3T3 マウス腎臓 KB K562 HeLa ライセートのウェスタンブロット分析。抗体は 2000 倍希釈。二次抗体は 1:20000 倍希釈。